


整理No. 2019-16		労働災害状況調査表	
発生会社 事業所			
災害発生日時		2018年2月9日(金) 午前8:45 天候(晴) 温度(1℃)湿度(%)	
災害区分		不休災害 <u>休業災害(4. 5日)</u>	
被災者	部門	SC統括部(生産部門)	雇用形態 <u>正社員</u> 、派遣、契約、その他(協力会社)
	年齢	22歳 性別 <u>男</u> 女	勤続年数 4年 経験年数 4年
	傷病名	急性腰痛・肉離れ(ぎっくり腰)	
	傷病部位	腰	
災害発生状況	状況概略(写真orイラスト)		
	調色中、14kg前後の石油缶を置いた時に痛めた。置く時に左手で持ちながら右側に置いた。		
	災害発生時の対応 すぐに病院へ行って診断を受けた。		
災害の型 ^{※1)} 9. 無理な動作		作業の形態 <u>定常</u> 、非定常、その他()	
起因物:重量物(1斗缶)		特記事項 寒い時期に写真のように腕・腰の力だけで持とうとしたか	
原因分類	1.人的要因(man) あわてた行動。 不安全行動。 危険察知不足。		
	2.物に関する要因(machine) 特に無し。		
	3.環境要因(media) 冬場の寒い気温		
	4.管理的要因(management) 1斗缶を持ち上げる際の基本動作の徹底。朝の体操で十分に体をほぐす。		
対策	①安全教育を実施。腰をひねらず、まっすぐ持ち上げるおろす。 出来るだけ膝を使って持ち上げる。		
	②他の工場にも、事故発生について周知する。		
	③朝の体操についてもしっかり行う		
対策分類 ^{※2)} :		1-6、2-4	

※1) ①から選択

※2) ②から選択(複数可)